「JP1のジョブ管理製品」への移行支援サービス

2025年09月

株式会社 日立製作所

© Hitachi, Ltd. 2025. All rights reserved.

HITACHI

1. クラウドに移行する際にジョブ管理製品をJP1に移行するサービスがあります

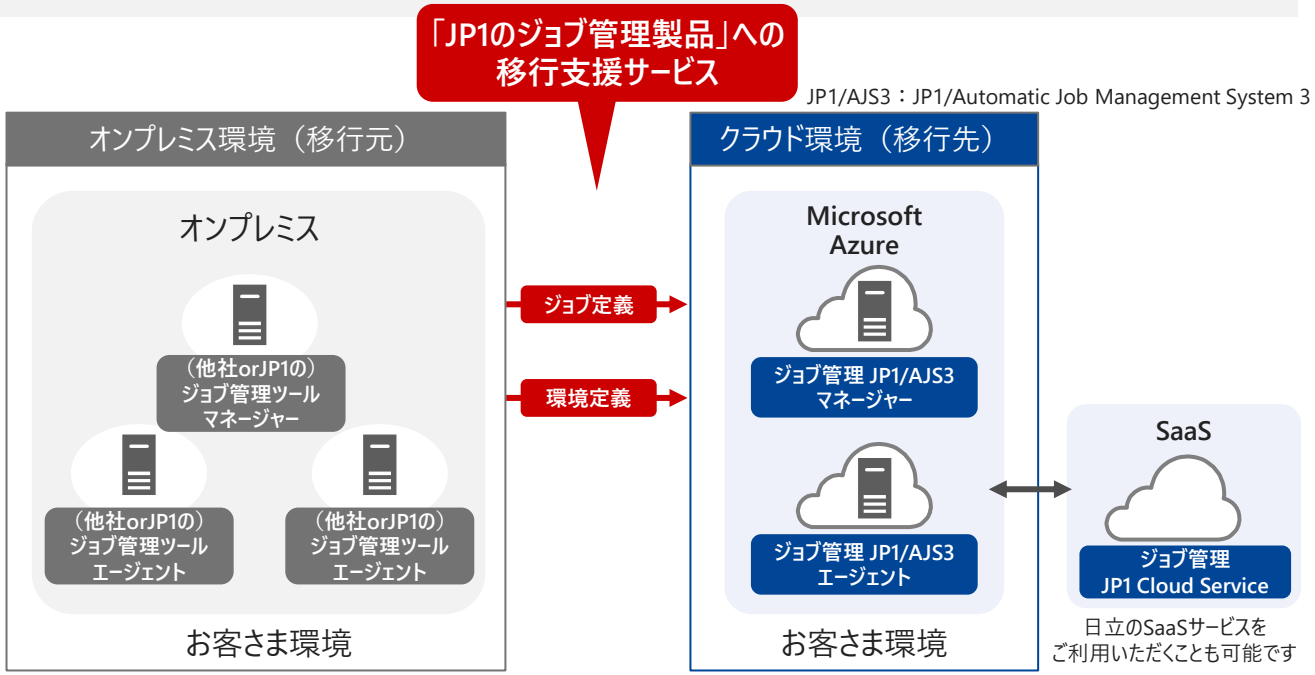
お客さまの背景

- オンプレミス、クラウド、SaaSなど多様なIT環境が混在する現在、システムの複雑化や大規模化に伴い、業務実行を自動化するためのジョブ管理の運用にもさまざまな課題が生じている
- システムごとに異なるジョブ管理ツールを使われているお客さまも多く、ジョブ管理ツールごとに個別の運用が発生するなど企業の業務全体を自動化することが難しくなっている
- 技術者不足が深刻化する中、システムごとに属人化した運用は破綻するリスクが高く、業務の安定稼働や業務継続性にも影響を及ぼす可能性を否定できない

こうした課題を解決するため、ジョブ管理ツールの一本化を目的とした移行を支援してほしいとのご相談が増えています

日立では、30年以上にわたって培われた技術と実績を生かして、さまざまなジョブ管理ツールから、JP1/Automatic Job Management System 3や JP1 Cloud Service/Job Management への移行を数多く支援しており、支援したお客さまから、「JP1にしてよかった」「運用が楽になった」などのうれしいお声をいただています。

※ JP1およびJP1 Cloud Serviceを総称して「JP1」と表記することがあります。



© Hitachi, Ltd. 2025. All rights reserved.

HITACHI

2. JP1のジョブ管理がお客さまに選ばれる理由

～JP1、JP1 Cloud Service に移行して快適なジョブ運用を実現～

大規模・ミッションクリティカル業務のジョブ管理に耐えうる設計仕様・品質

JP1は企業の基幹業務や24時間365日止められないシステムなど、厳しい運用条件にも耐えうる設計仕様と品質を備えています。
安定したジョブ管理を支える信頼性が、多くのお客さまに評価されています。

オンプレミスやクラウドをはじめ、幅広いプラットフォームや環境に柔軟に対応

オンプレミス、クラウド、SaaSなど、さまざまなシステム環境に対応しており、異なるプラットフォームが混在する現代のIT環境でも、スムーズなジョブ管理を実現します。
異なるシステム間を容易に連携できる柔軟性が、作りこみを減らし、信頼性の確保につながっています。

長期運用を支えるための技術者が豊富長期にわたる安心を提供

JP1は、30年以上にわたり、幅広い業種・業務のジョブ運用を支え続けており、技術力と実績豊富なプロフェッショナルや認定技術者を多数輩出しています。充実した技術者育成プログラムがあり、技術者の育成もスムーズです。
技術者の確保のしやすさは、長期運用を実現するために欠かせない要件になっています。

JP1のジョブ管理は、
信頼性の高い設計仕様と品質に加え、プラットフォームや環境のカバー範囲が幅広く、
導入実績が豊富で、長期運用に欠かせない技術者の確保もしやすいことから、
ジョブ管理ツールの移行先として、多くのお客さまから選ばれています。

© Hitachi, Ltd. 2025. All rights reserved.

HITACHI

3. スムーズな移行を実現するための現状分析

お客さまが利用されているジョブ管理ツールからJP1やJP1 Cloud Serviceへ移行する場合の移行難易度を総合的に分析・評価します。
経験豊富なJP1のプロフェッショナルが、ジョブ定義移行の難易度や移行上の懸案・課題を明確化し、お客さまが利用されているジョブ管理ツールからの移行を支援します。

評価結果報告書のイメージ

ジョブ定義移行診断結果

20xx/xx/xx受領の下記ジョブ定義情報を基にしたジョブ管理 JP1 Cloud Service/Job Management (JP1/AJS3)への移行診断結果を、以下に報告します。

お使いの製品	xxxxxxxxxxxxxxxxx	バージョン	xxx

1. 基本情報

サブシステム数	2	プロジェクト数	5
グループ数	15	ジョブネット数	1,000
グループ内ジョブネット数	500	ジョブ数	5,000
カレンダー数	7		

2. ストレート変換可／代替策あり／変換不可の内訳

過去事例で検討課題に挙がったキーワード（3章の表）について、今回受領したジョブ定義での使用状況は、下表のとおりです。
「標準的な仕様でストレート変換可」、「代替案あり（※1）」、「変換不可（※2）」、それぞれの該当数合計を上段に、割合を下段に示します。
実際の検討課題解決とは異なり、計算の都合上、キーワードごとの重み付けは同じにしてあります。
（※1）追加オプションでの個別対応、またはお客様でのカスタマイズ修正が必要です。
（※2）お客様でのご検討が必要です。

#	区分	内訳の合計と割合		
		ストレート変換可	代替策あり（難易度低）	作り込み又は運用変更が必要（難易度中～高）
1	ジョブ	17,000	5,500	2,500
		68%	22%	10%
2	ジョブネット	4,800	1,400	800
		69%	20%	11%

3. 検討が必要な課題

検討が必要な課題（キーワードと該当数の内訳）は、下表のとおりです。
今回の移行診断では、過去事例を参考に今後の検討に影響する可能性がある一部のキーワードだけを対象として、該当数を求めています。
そのため、全キーワードで詳細分析時には新たな検討対象キーワードが登場し、追加検討が必要となる可能性があります。

#	区分	キーワード	該当数の内訳		
			ストレート変換可	代替策あり（難易度低）	作り込み又は運用変更が必要（難易度中～高）
1	ジョブ	pre_job_endcode（条件分岐／合流）	2,500	1,500	1,000
2		jobname（移行元製品のコマンド実行）	4,000	1,000	0
3		jobicon（アイコン種別）	3,000	1,500	500
4		jobattr（リカバリジョブ終了後の自動再実行）	3,500	1,500	0
5		resource/resource_attr（リソース情報）	4,000	0	1,000
6	ジョブネット	holidaycalendar（複数カレンダー参照）	700	0	300
7		pre_jobnet（先行後続関係のループ）	900	100	0
8		carryovermode（日跨り実行の自動打ち切り）	500	0	500
9		iplstart（サービス起動を契機としたジョブ実行開始）	900	100	0
10		messagemode（メッセージと時刻のOR待ち）	800	200	0
11		jobnetname（ジョブネット名の最大長を超過）	500	500	0
12		jobnetcomment（コメントの最大長を超過）	500	500	0

－以上－

移行の不安を解消！安心して移行できます！

課題が明確になるので、移行の決断もスムーズ。
社内稟議にも対応しやすくなります。

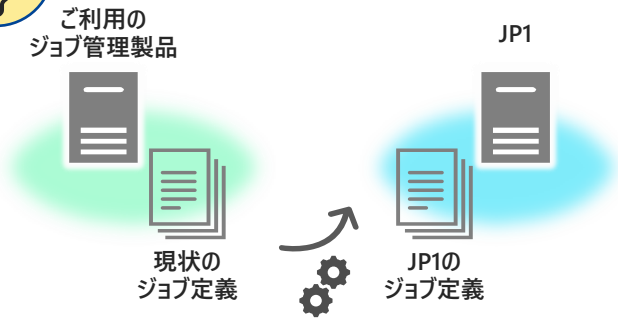
© Hitachi, Ltd. 2025. All rights reserved.

HITACHI

4. スムーズな移行を実現するためのジョブ定義変換ノウハウ

移行時のジョブ定義の変換ノウハウをツール化しており、お客さまが利用されているジョブ管理ツールからJP1やJP1 Cloud Serviceへのジョブ定義変換を高品質に実現します。また、移行先の環境に合わせた変換や、ジョブ定義の最適化(スリム化・階層化)により複雑なジョブ定義を、見やすく・使いやすく再構築でき、運用を改善できます。

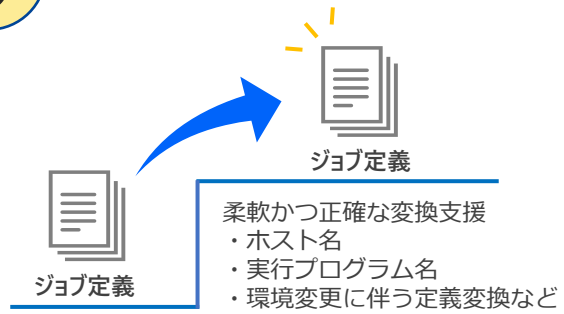
Step1



実績あるツールで、確かな品質のジョブ変換を実現

- ✓ ノウハウを生かしたツールで「安心・安全」に移行
- ✓ 人手を抑え、短期間でJP1へスムーズに移行

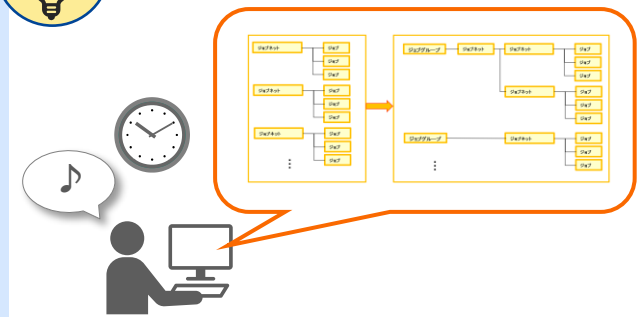
Step2



移行先環境に合わせた柔軟な定義変換を支援

- ✓ ホスト名や実行プログラム名の変更も柔軟に対応可能
- ✓ 環境変更に伴う定義変換にも対応
- ✓ 漏れやミスのない、正確な変換を実現

Step3



ジョブのスリム化・階層化で、より使いやすいジョブ定義へ

- ✓ ジョブ定義の視認性が向上し、構造がひと目で把握しやすく
- ✓ ジョブのメンテナンス時の操作性が向上し、作業効率がアップ

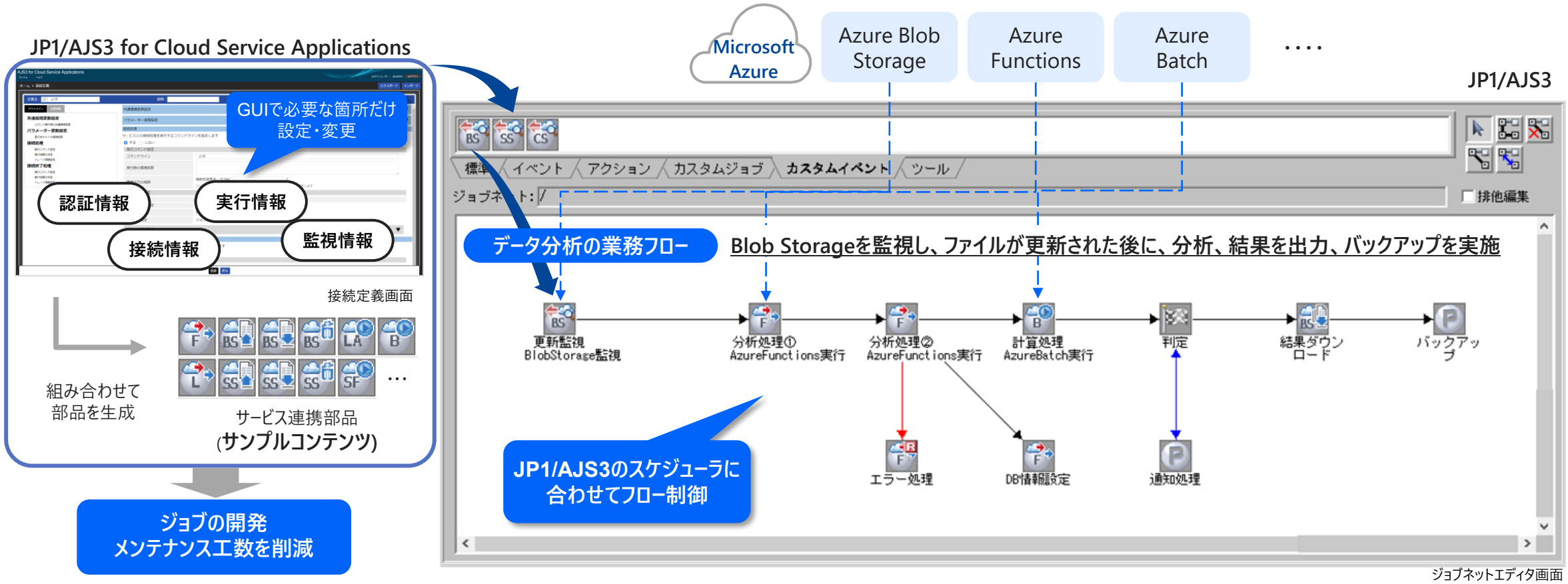
© Hitachi, Ltd. 2025. All rights reserved.

HITACHI

1. Azureサービスのジョブフローを制御・実行が容易

JP1/AJS3 for Cloud Service Applicationsとサンプルコンテンツを利用することで、Azureのサービスを JP1/AJS3で制御・実行可能に！
さらにジョブの開発・メンテナンス工数を削減を実現！

JP1/AJS3：JP1/Automatic Job Management System 3



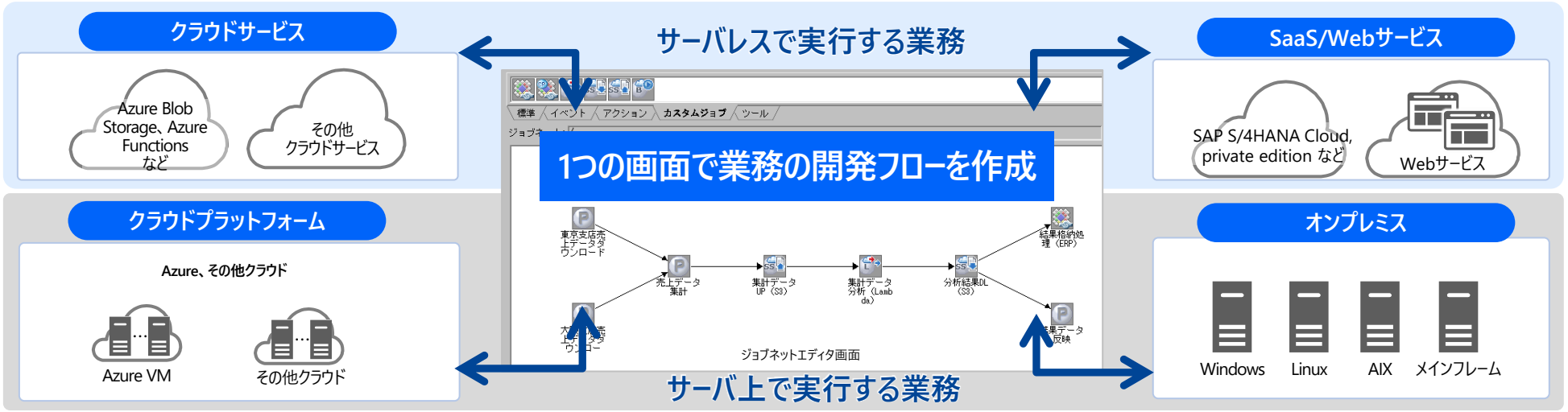
ジョブネットエディタ画面

© Hitachi, Ltd. 2025. All rights reserved.

HITACHI

2. Azureを含めたクラウドとオンプレミスの一元的な管理が可能

クラウドサービスやオンプレミスが混在する中でも、一つの画面で業務フローを開発、制御が可能。
さらに業務の状況もまとめて表示！複雑な運用でもシンプルなUIで解決！



業務状況を1つにまとめて表示

- 業務全体の進捗度や終了予定時刻、異常の有無などの概況を表示
- 業務ごとの実行状況を色で表示

業務全体の進捗度、正常終了や異常終了、遅延など状態別の実行件数、業務ごとの実行状況を確認

1. 業務フローをローコードで開発可能！
2. 予定がわかりやすく、柔軟に変更可能！
3. 実行結果の確認・再実行が容易！

© Hitachi, Ltd. 2025. All rights reserved.

関連情報のご紹介

□ 統合システム運用管理 JP1のジョブ管理がお客さまに選ばれる理由 ～ JP1、JP1 Cloud Service に移行して快適なジョブ運用を実現～

https://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/soft1/jp1/feature/automation/jp1_job_migration/index.html

□ 進む業務システムのクラウド移行 業務を自動化するジョブ管理システムの移行はどうする？

ジョブ管理システムをクラウドに移行する際の検討ポイント

https://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/soft1/jp1/feature/automation/jp1_job_cloud_migration/index.html

□ JP1のクラウド移行などの技術支援のご紹介ページ

https://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/soft1/jp1/introduction/tech/index.html

JP1

© Hitachi, Ltd. 2025. All rights reserved.

注意事項

〔本資料に記載の事項について〕

本資料に記載しているサービスの内容については2025年9月現在のものであり、予告なく変更になることがあります。

〔他社商品名称に関わる表示〕

- AIXは、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。
- AzureおよびWindowsは、マイクロソフト 企業グループの商標です。
- Linuxは， Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標です。
- 本書に記載される SAP 及びその他の SAP の製品やサービス、並びにそれらの個々のロゴは、ドイツ及びその他の国における SAP SE （又は SAP の関連会社）の商標若しくは登録商標です。
- その他記載の会社名、製品名などは、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

© Hitachi, Ltd. 2025. All rights reserved.

HITACHI